

事業評価報告書

1. 調査結果を活用した再生可能エネルギー電気を供給する取組の概要

取組主体	取組概要
日新バイオマス発電 (株)	<p>(設置済)</p> <p>名称：木質バイオマス発電所 場所：鳥取県境港市西工業団地 稼働日：平成27年2月16日（営業運転開始日） 竣工式：平成27年3月13日 発電規模：出力5,700KW、送電端出力5,000KW 使用燃料：木材チップ8万トン／年（計画） H27年度調達内訳：未利用材1.65万トン、自社工場より6.35万トン 総事業費：28億円 施設概要：交流発電機（横軸回転界磁円筒形同期発電機）、蒸気タービン、燃料受入れサイロ、チップヤード、その他 その他：・日新木質バイオマス発電推進協議会が設立され、燃料の安定供給体制構築について協議 ・地域からの未利用材供給規模等について本調査報告書を参考に検討</p>
鳥取県企業局	<p>(設置済)</p> <p>名称：竹内西緑地太陽光発電所 場所：鳥取県境港市竹内町 稼働日：平成27年3月2日 発電規模：1,250KW 総事業費：700百万円 施設概要：設置面積 約25,000平方メートル 単結晶シリコンパネル その他：県企業局では、本調査報告書によるポテンシャルのもっとも高い境漁港のデータを参考として境漁港に近接している自己所有地に設置された</p>

2. 評価

木質バイオマス発電

ポテンシャルの最も高い鳥取県西部地域で、地域材を利用する木質バイオマス発電所が建設されたところであり、鳥取県東部においても工場の既存重油ボイラーについて未利用材を一部利用するバイオマスボイラーに転換する計画（一部売電）の動きも出てきている

太陽光発電

耕作放棄では、土地所有権関係が難しく困難であり、一方、漁港施設等についても一定規模の土地利用が難しいので、実績は無い。しかしながら、本調査報告書を参考として、近隣に土地を所有する他事業者が設置・整備を進めている

小水力発電

本調査報告書時点で小水力発電を計画されていた箇所以外には新たな整備の動きは無いが、いろいろな機会を通じ情報の提供を行う

風力発電

本調査報告では、県内に該当適地はないという結果となっている